

# みんなの居場所

## なぜ勉強しなくちゃいけないの？SP

令和5年7月25日(火)

最近の子供達は、物質的にも比較的豊かの中で生活していますので、壁に当たった時の対応能力が非常に低い現状があります。勉強に対する主体性も低いというですね。一方で勉強してないという言葉を聞かなくなりました。保護者の皆様は多いと思いますが、なぜかでも勉強嫌いな子供って「好きなゲームを回時間とすめるだけ」嫌いな勉強を回時間とすめる気がなくなっちゃった。「勉強してても意味があるんだらうから」「思っています。そして疑問を持ちます。勉強して何の役に立つんだらうか」「勉強してこの学校に入ってもまだ勉強して何があるんだらうか」「親は勉強しないと言派な人間になっちゃうよ」「勉強してこの大学に入らなければ立派な人間になっちゃうんだらうか」「無理して勉強を頑張るよりも意味がない気がする。でも親がカミカミで言うから仕方ないか」「こんな風に思っているのよ。」「いざ高校や大学に入ると、一流企業に入るといざ公務員になるといざ将来に必ず必要だからいざいざでも正解は「勉強嫌いな子供はたまたまこのまじな職業を投げかけて」「あー勉強嫌いな子供はたまたまこのまじな職業を投げかけて」「あー勉強嫌いな子供はたまたまこのまじな職業を投げかけて」「あー勉強嫌いな子供はたまたまこのまじな職業を投げかけて」

中学・高校で学ぶ知識の殆どは社会人になって役に立たなくなり。各教科の基礎の部分以外で大人になっても役に立つ知識は人によって様々で、理数系しか役に立たない人もいれば、英語しか役に立たない人もいます。では、なぜ無駄？な勉強をしなくてはいけないのか？なぜ、子供に勉強をさせるのか？

文科系は「学問の道に進む」といって「生きる力」を育てようという理想のもと、知識や技能の習得とともに読解力・判断力・表現力などの育成を重視している記事がなされています。将来にたい職業が決まれば、それに向けて勉強するのでは、道の甲斐もあっていいと思いませんか？

反対に、まだ将来の目標が決まっていない小・中・高校生にとっては、将来にたい職業が決まっていなくても、基礎学力を向上させることが大切なんだと思います。将来にたい職業が決まらなくても、専門学校の専門分野の勉強をするにしても、小・中・高時代の勉強してきた基礎学力が役に立って、理数系も必要になります。かなり苦学が必要なことになり、そればかりでなく、社会人になってからは、様々な難題にぶつかって解決策を見つけていかなければならなくなる場面も多々あります。その時、学校で今までの勉強してきた知識は役に立たないかもしれないけれど、学生時代に培った難題に立ち向かう力、集中力・考え力・判断力などは必ず役に立ってきます。学生時代にはないと思っていた職業に就いて一生を過ごす人は少ないと思えますが、ご自分の職業に就いて学生時代に培った基礎学力も応用力は必ずどこかで役に立つものです。だから私のように「学生時代に培った勉強しておけば良かった。」と後悔する人が後を絶たないのです。以前、子供は元々学びたい人が好きで、内容を記事を書きましたが、私たちが大人は勉強するの嫌いな子供って結構多い。そんなことはないです。なぜ？資格を取らなければならないの為に遊ぶ時間を削って勉強している人も多いと思います。その場、英・数・国・理・社という科目を勉強するの嫌いな子供は、専門的なものを勉強するの嫌いな子供は、色々な知識は何なのかを吟味してから勉強するの、楽しい一面もありません。このように一言で勉強と言っても、年齢や考え方によって全く違ったりすると思います。年齢や考え方によって全く違ったりすると思います。年齢や考え方によって全く違ったりすると思います。年齢や考え方によって全く違ったりすると思います。

Anyone who stops learning is old, whether at 20 or 80.  
 Anyone who keeps learning stays young.  
 The greatest thing in life is to keep your mind young. Henry Ford

20歳であろうが80歳であろうが、学ぶことをやめた者は老人である。学び続ける者はいつまでも若い。  
 人生で一番大切なことは、若い精神を持ち続けることだ。ヘンリー・フォード

若さを保つためにも学びは必要なのです！！

※ 「みんなの居場所」に関するご意見ご感想をお寄せください。(「みんなの居場所」への掲載の可・不可)

